

令和2年度 公の施設の指定管理者監査の結果（指摘・意見・リスク発現の可能性のあるもの）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 公の施設の指定管理者監査
- 2 監査対象 特定非営利活動法人自然と子どもを育てる会（四日市市営宮妻峡ヒュッテ）
シティプロモーション部観光交流課（指定管理に関する事務の所管所属）
- 3 監査実施期間 令和 3年 1月18日

【特定非営利活動法人自然と子どもを育てる会】

指 摘

特になし

意 見

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
(1) 公の施設が適切に管理されず、安全性が確保されないリスク ① ヒュッテ北側の法面が、樹木が少なく崩れやすい状態になっている。指定管理者は気づいたことを積極的に所管部局に伝え、所管部局は関係課と協議を重ねて、安全でよりよい環境づくりを行うこと。	【措置済】 令和 3年 4月 9日 市と協議し、月次報告の際に、管理運営において気づいたことを市に報告する場を設け、気づいたことや改善したことなどを報告することとした。ヒュッテ北側の法面については、目視による確認を行い、変化があれば市に報告することとし改善を図った。
② 外にあるトイレ付近のごみ、宿泊室の照明にたまっているごみが目に付くので、こまめな清掃を行うこと。	【措置済】 令和 3年 4月11日 機械的に清掃をするのではなく、来場者の視線に立って清掃等の業務にあたるよう改善を図った。

2 3 E (経済性、有効性、効率性)等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見	措置(具体的内容)・対応状況
<p>① 予算流用について【住民福祉の向上の視点】 年度当初に、ホームページのリニューアルを予定していたものの、大量発生したスズメバチの駆除に費用を要したため、ホームページのリニューアルが翌年度にずれ込んだとのことである。ホームページのリニューアルは、集客や利便性の向上のためのものであり、スズメバチの駆除と同列に扱うのではなく、別途予算の確保を考えるべきではないか。</p>	<p>【措置済】 令和 3年 3月19日 スズメバチの駆除に関わらず、協定書に定められていない事項については、市と適切な協議をするよう改善を図った。</p>
<p>② イベント等参加料について【経済性の視点】 イベント等の参加料も、重要な収入である。材料費等必要なものは適切に受理するようにし、収支状況に負荷がかからないようにすること。</p>	<p>【措置済】 令和 3年 3月19日 イベント等の開催にかかる収支について、現実的な積算をした上で参加料を設定することとした。</p>
<p>③ イベント情報の周知について【有効性の視点】 参加者の少なかったイベントもあるが、より多くの参加者を集められるよう、さらに広く周知すること。</p>	<p>【措置済】 令和 3年 3月19日 現在の周知方法以外に、Facebookでの周知をすることとした。</p>
<p>④ 利用者のアンケートについて【有効性の視点】 利用者のアンケートの自由意見欄について、満足したといった回答のみで、どういったところがよかったかが不明な回答もある。利用者の意見を反映するために、具体的な意見を書いてもらえるようなフォーマットにすること。</p>	<p>【措置済】 令和 3年 4月 9日 令和4年度以降のアンケート様式について、自由記載欄を従来より大きくすることで利用者の意見を反映しやすいフォーマットとした。</p>
<p>⑤ 利用者のニーズの変化への対応について【住民福祉の向上の視点】 ア 施設の古さにもかかわらず全体的に綺麗に管理されているが、少し殺風景に感じられる。花を飾るなど、工夫してほしい。</p>	<p>【措置済】 令和 3年 4月28日 施設入口に花壇を設置し、季節の花を植えられるようにした。</p>
<p>イ 利用者アンケートでは、Wi-Fi環境やお湯が使えないなどの不満もみられる。ファミリー層へのサービス向上とそれに伴う対価の確保等、指定管理者としての気づきを積極的に市に伝えていってほしい。</p>	<p>【措置済】 令和 3年 4月 9日 市と協議し、月次報告の際に、管理運営において気づいたことを市に報告する場を設け、気づいたことや改善したことなどを報告することとした。</p>

リスク発現の可能性があるもの

監査結果	対応状況
<p>(2) 施設の使用許可、利用料金の徴収が、公平公正に、規定の手續に基づいて行われないリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料金を指定管理者が設定する場合、あらかじめ市の承認を得ているか。また、施設の使用許可、利用料金の収納や減免、還付等の手續が適正に行われているか。 	<p>【 対応状況 】 令和 3年 9月 30日</p> <p>監査後、令和元年10月1日からの利用料金額の変更に際し行っていない事務手續きを改めて行った。</p>
<p>リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)</p> <p>× 消費税率の引上げに伴う利用料金額の変更に際し、宮妻峡ヒュッテの設置及び管理に関する条例施行規則の規定に基づく事務処理が行われていなかった。適切な事務処理を行う必要がある。</p> <p>施設の使用許可等については、同規則に規定されている手續が適正に行われていた。</p>	<p>【 対応状況 】 令和 4年 3月 31日</p> <p>監査後、令和元年10月1日からの利用料金額の変更に際し行っていない事務手續きを令和2年12月28日に改めて行っており、既に対応済である。</p>

【シティプロモーション部観光交流課】

指 摘

特になし

意 見

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
<p>(2) 指定管理者への指導監督が適正に行われないリスク</p> <p>モニタリングレポートに記載されているイベントの参加人数と、指定管理者から実績として報告されているイベントの参加人数に齟齬がみられたり、参加者の少なかったイベントをモニタリングレポートに記載していなかったりという状況があるが、いかがなものか。記載方法について整理すること。</p>	<p>【 措置済 】 令和 3年 4月 9日</p> <p>複数記載することから煩雑となっていた報告様式を変更し、記載方法を簡略化することで改善を行った。</p>

2 3 E (経済性、有効性、効率性)等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見	措置(具体的内容)・対応状況
<p>① 収益向上のための仕組みについて【経済性の視点】</p> <p>施設設置当初から、利用料金がほとんど変更されていないが、物価の変動や社会情勢の変化を反映させることを検討すること。また、魅力ある自然環境をいかすとともに、山ガールの増加等、利用者の属性の変化といった時代の流れをくんで、浴室やトイレ、宿泊室を男女別にするなど、女性客も安心して使える環境整備に取り組み、収益を上げるしくみを研究すること。</p>	<p>【措置済】 令和 3年 3月19日</p> <p>利用料金については、改めて全国的に同規模の施設を比較しても、金額に差がないことから、適当な利用料金の設定であると判断した。</p> <p>昨今のキャンプブームで宮妻峡を訪れる来場者に対し、キャンプに必要な物品の販売を行い、収益を上げる取り組みをしている。また、必要に応じて宿泊室を男女別にすることや、施設の入口に花壇を設置するなど、女性客への満足度向上に向けた取り組みも実施している。</p> <p>今後も社会情勢を踏まえながら、性別や年代問わず満足して施設を利用していただくために必要な環境整備を行っていく。</p>
<p>② 非常時の対策について【住民福祉の向上の視点】</p> <p>台風等の災害で道路がふさがれた時に、徒歩で下山できる道の整備等を含め、緊急時の体制の確立や安全管理の整備は、最悪の事態を想定して対策を行うこと。しばらく下山できない事態が生じたときのために、備蓄食料についても検討すること。</p>	<p>【措置済】 令和 3年 3月31日</p> <p>緊急時における市から指定管理者への連絡体制を改めて見直した。また、しばらく下山できない事態が生じることを想定し、施設に備蓄食料を設置した。今後も緊急時の安全管理にかかる必要な環境整備について検討を行っていく。</p>

リスク発現の可能性があるもの

監査結果	対応状況
<p>(3) 指定管理料の算定及び支出の手続におけるリスク</p> <p>・ 指定管理料は、年度協定書、仕様書等に定める指定管理業務内容を実施する上で適正な金額を見積もって算定されているか。指定管理料の支出の手続は、年度協定書、仕様書等に規定されたとおり行われているか。</p> <p>リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)</p> <p>× 指定管理料は、指定管理者の提案を前提に、必要な指定管理業務内容に見合うように算定されていたものの、実際の運営にあたっては、自主事業の収入が計画通り見込めず厳しい経営状況にある。指定管理者の指定にあたっては、自主事業の収益性について楽観的に査定するのではなく、現実的な収益性を見込むべきである。</p> <p>支出の際は、年度協定書、仕様書等で定めた手続がとられていた。</p>	<p>【対応状況】 令和 3年 9月30日</p> <p>当該指定管理期間の収支計画及び収支決算の一覧を作成した。また、指定管理者からの聞き取りをすることとし、次回の指定管理者選定の際に、現実的な収益性を見込めるよう改善を図った。</p> <p>【対応状況】 令和 4年 3月31日</p> <p>当該指定管理期間の収支計画及び収支決算の一覧を作成している。また、指定管理者からの聞き取りを行っており、仕様書の範囲内で収益性の改善ができるよう業務内容の変更を実施している。</p>

【特定非営利活動法人自然と子どもを育てる会・シティプロモーション部観光交流課】

指 摘

特になし

意 見

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

特になし

2 3E（経済性、有効性、効率性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
<p>① 本市の恵まれた自然環境のプロモーションについて【経済性の視点】</p> <p>利用者のアンケートでは、多くの人が満足しているが、さらなる環境整備等のサービス向上を求める意見もある。そのニーズに対応するとともに、指定管理者としての収支のみでなく、自然環境に恵まれた市内唯一の施設として、市のPRにも活用していくなど、宮妻峡の観光資源としての経済効果をより強く意識して整備を行うことが必要である。ハード、ソフト両面で、さらに投資する価値のある環境であると考えている。</p>	<p>【措置済】 令和 3年 7月12日</p> <p>ソフト面については、広報などの紙媒体だけでなく、ホームページやSNSを活用した周知を図るよう指導した。また、ハード面については、指定管理者からの意見を聞き取りながら、必要な整備をしていくため、月次報告の際に施設の管理運営の中での気づきを聞き取ることとした。</p> <p>なお、施設が令和10年度で耐用年数を迎えることから、除去や再整備など、施設のあり方について検討をしていく。</p>

リスク発現の可能性のあるもの

特になし